

## II 緑の実績の把握

### 1. 緑地確保量の把握

#### 緑地の確保

平成13年度策定の「八尾市緑の基本計画」における施設緑地の確保目標水準は、平成11年度の一人あたりの施設緑地面積が5.4㎡/人であり、平成17年および長期の確保目標については、それぞれ、6.2㎡、12.3㎡であった。

平成16年度末現在の一人あたりの施設緑地面積は5.9㎡/人であり、順調に整備が図られているものの、目標値にはわずかに届いていない。

地域制緑地については、生産緑地地区が減少しているが、近郊緑地保全地区、自然公園、保安林、農用地区については、平成11年度調査時から変化はない。

#### ●緑地確保の目標水準(施設緑地、地域制緑地)

年次	平成11年	目標年次(平成27年)
緑地確保量	23%	25%

#### ●都市公園等の施設として整備すべき緑地の確保目標水準(施設緑地)

年次	平成11年	現況(平成17年)	目標年次(平成27年)
都市公園等の施設として整備すべき緑地面積(住民一人あたり)	5.4㎡	5.9㎡	12.3㎡

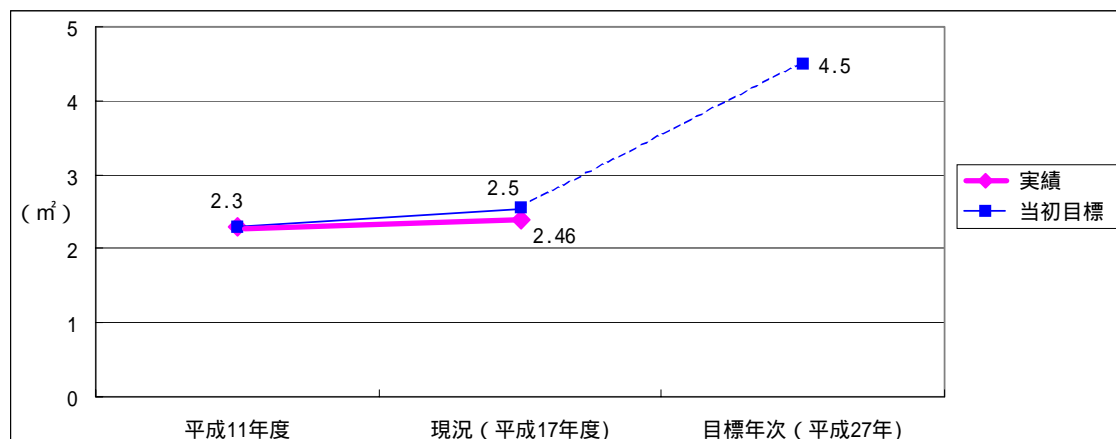
緑地には都市公園のように施設緑地として担保されているものと、法制度等によって担保されている地域制緑地がある。

施設緑地の内訳：都市公園、児童遊園、ちびっ子広場、青少年運動広場、体育館、青少年キャンプ場、道路、河川、市民農園、史跡文化財、学校、幼稚園、駅前広場等

地域制緑地の内訳：生産緑地地区、近郊緑地保全区域、自然公園、保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区等

都市公園一人当たり面積における確保実績の推移～当初(平成11年度)の目標との比較～

都市公園の一人あたりの面積におけるこれまでの確保実績については、下記のグラフに示す通り、ほぼ当初の目標水準どおりとなっている。



#### 緑被率

八尾市の市街地での緑被率は、概ね11%(平成16年度末)となっている。

緑被率：樹林や樹木で覆われている面積の割合 = 緑被地面積(樹林・樹木の樹冠投影面積) / 敷地面積